

選挙権年齢が18歳以上に

若者の投票意識向上へ

出前講座と模擬投票を実施

問 公職選挙法の改正により選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたが、若年層の投票意識の向上について、市の考えを聞く。

答 平成28年の夏に予定されている参議院議員通常選挙から18歳以上の者が投票できるように、本市では約5900人が新



若者が創る未来に一票(明石商業高等学校)

たに有権者として加えられる見通しだ。今後、学校では、高校生向け

に国が作成した副教材を活用するなど主権者教育を進めていくことになっている。

また、27年11月に二見中学校、錦城中学校、明石商業高校で出前講座および模擬投票を実施した。実施後の意識調査の結果から、一定の効果があつたと考えており、今後、生徒がより主体的に考えることができるよう、さらに改善するとともに、対象を中学校、高校以外にも拡大して引き続き実施していきたい。

保育士の確保 採用試験の前倒し 試験の簡素化も検討

問 全国的な保育士の不足について、市の認識と対策を聞く。

答 現在、市立保育所の保育士は、子どもの数に対する国の配置基準を満たしているが、共

働き家庭の増加などで保育需要が高まり、民間保育所が増加する状況を考えると、保育士の確保は大きな課題である。そのため、早期に優秀な人材を確保できるように採用試験のスケジュールの前倒しや、3年間の任期を満了した臨時保育士が再度公募試験を受ける際の試験制度の簡素化・簡略化等について検討を進めている。



先生はみんなの憧れ

市民病院の第1期中期目標 達成にはやや遅れ 収支改善が課題

問 平成23年に独立行政法人化した市民病院の第1期中期目標の達成状況を聞く。

標を達成できていないなど収支改善に課題が残るとともに、26年度決算は診療報酬改定等の影響から3年ぶりに赤字であつたため、中期目標・中期計画の達成にはやや遅れているとの評価だつた。市としては、この結果を真摯に受け止め、より良い地域医療を維持するため市民病院の役割は大きいとの認識のもと、第2期中期目標を策定したところだ。

市の財政健全化 10年間で収支均衡を目指す 公共施設も見直し

問 市民の生活が苦しくなる中で、福祉の充実を図るべきであり、そのためには市の財政健全化が重要と考える。これまでの成果と今後の取り組みを聞く。

答 市は、年間人件費を平成14年度比較で40億円削減、未活用地の売却益を2年で11億円、市税等の債権徴収率を5年連続向上させるなどさまざまな成果をあげてきた。しかしながら、今後、福祉関係経

飼い主のいない猫 平成23年度から870匹に 去勢・不妊手術を助成

問 飼い主のいない猫の保護を目的として、猫を捕獲し保護区を設置することに、市の考えを聞く。

答 本市では、ふん尿被

害等の環境美化対策として、平成23年度から飼い主のいない猫の去勢・不妊手術の助成制度を実施している。この制度では、創設から27年12月1日までで約870匹に対し助成を行ってきた。なお、27年度の助成状況は、12月1日現在で雄88匹、雌118匹の合計2

06匹であり、助成額は162万円となっている。また、猫を捕獲し適



猫も人も幸せなまちへ

生産緑地制度 厳しい要件に異論 早期導入を望む意見も

問 市が導入を目指している生産緑地制度は、緑地機能を持つ農地を保全し良好な都市環境を形成しようとするも

のだ。しかし市の案では要件が厳しい。要件緩和の考えは。

答 農地が緑地機能を持つためには一定の規模

が必要ことや、生産緑地に指定されると30年にわたり農地として管理することが義務付けられるため、農業を継続できる規模が必要であること、さらに30年後に公共施設用地として市が買い取ること

雲楽池のユスリカ対策 フナ放流やかいぼりで 環境改善へ

問 藤江の消防本部の東側にある雲楽池では、ユスリカが大量発生し住民が困っている。また、池底にたまった土砂を集積し、平地を造成する整備計画があつ

たが、今後の予定は。水利組合等と連携し池周辺の草刈りや水路清掃などの環境改善を行うとともに、ユスリカの幼虫を捕食するフナ等の魚を放流する取り組みなども行つてきた。ユスリカはあらゆる水場から発生することから、完全に防ぐことは困難だが、清掃や

池のかいぼりなどを実施し、少しでも発生を抑えたいと考えている。また、雲楽池については、耐震診断を実施した結果、堤防の改修工事をを行う必要がある。このため、まず堤防の安全性向上のための改修を実施し、その後、平地造成などの工事を行う予定だ。



地域に愛されるため池へ



市民にとって必要な医療を提供